



五名地区租税教育推進協議会会長賞
三加和中学校 一年生
中 山 寧 音

『じいちゃんの入院』

私は税金にとっても感謝しています。部活終わりの帰り道。いつもの道を兄と帰っていると、スカイドーム二〇〇〇の近くにあるバス停で、人集まりができていました。何かなど思いつつもそのまま通り過ぎました。家にすぐ直前、ガードレールの横に妹が立っていて、そわそわしながら誰かを待っている様子でした。「どうしたの？」と聞いてみると、

「バス停の近くで、じいちゃんが倒れて、今救急車で運ばれてるの...」

と。私は意味が理解できず、放心状態でした。私は、祖父にもしものことがあったらと考えたら怖くなり、母に連絡してみました。母は病院にいて、祖父の状態を教えてくださいました。受け応えはできるし、手も使えるけれど、下半身は、動かないそうです。今は、き



五名地区租税教育推進協議会会長賞
菊水中学校 三年生
坂 本 たくみ

『税に守られた生活』

世界は、税金によって成り立っている。税金は、私たちの命や生活、地球の環境、その他たくさんを支えているのだ。そのことを知らずに税金は良くないものだ、私たちは捉えてしまう。

私はまだ大人ではないので、消費税以外の税金は払っていない。だから、税金を払うのは大変と思ったことはあまりない。しかしそれでも、消費税はなくてもよいと思うことがある。大人の方がもっと大変だ。仕事をしていたら、所得税を払わなければならないし、住民税などもある。自分の親も、「税金もつと減らしてほしい。」

と云っていたことがあった。だから私は、税金に良い印象をもっていなかった。学校で租税教室という税についての勉強があった。法人会の人がいってしゃって、税についての説明があった。そこで、税がなくなったら、どうなるかというDVDを見た。そこには、汚れていて穴が空いている道路。お金がかかる警察や消防。年金はないため、



五名地区租税教育推進協議会会長賞
三加和中学校 三年生
水 町 長 賞
牛 島 紗 帆

『税に守られた生活』

私は毎日、自転車で登下校をしています。雨の降った後は道路に穴がいたり、土砂が落ちていたり少し危険なときもあります。しかし、すぐに町の役場の方々が対応してくださるので、けがをしたりすることはありません。こうやって私たちが安全に生活できているのは、役場の方だったり、警察、消防などの方のおかげだと思います。そして、それを支えているのは税金です。コロナウイルスが流行したときにワクチンが打てたのも税金が活用できたからです。私たちがあまり考えていないだけで、税金は国民の暮らしを守ってくれています。世の中には「税金なんて払いたくない」「自分のお金なのに...」と嫌だと思っている人もたくさんいると思います。私は税金についてよく知らないころから、税の学



五名地区租税教育推進協議会会長賞
菊水中学校 三年生
平 野 胡 桃

『わたしと税金』

私たちの生活は様々な税金によって支えられている。先日、学校で租税教室があった。税金について知っているつもりではいたが、初めて知ることが沢山あった。「税金はなぜあるのか。」知らない自分が恥ずかしくなった。

では税金がなくなると私たちの生活は、どうなってしまうのか。道路は整備されておらず、町はゴミだらけ、全員が学校に通えるわけではない。今のあたり前の生活があたり前でなくなる。税金の種類や納税の方法は、人によって異なる。物を買った人、物を売った店が納める「消費税・地方消費税」会社などに勤めている人、自分で商売をしている人が納める「所得税・住民税・事業税」などがある。また、所得や景気を調整する役割もある。所得によって納める額が変わったりする。

租税教室では、「税金のない世界」のアニメーションを見た。車はぼこぼこの道を走っていた。小学生や中学生の年代の子供達は学費が払えず、コンビニエンスストアの前に集まっている。

働くお年寄り。学費を出せなくて、学校に行けない子どもたち。たくさんのお金と、税金が見えた。そこで、税金とは、私たちの生活において、大いに重要なもので、なくてはならないものだと、気づくことができた。そして、今まで税について、悪い印象が強かったけど、良い印象を持つようになった。私の生活を振り返り、税金にかかわっていることがないか考えた。消費税など身近にはたくさんあるが、自分にとって一番大きいのは、医療費援助だった。私は、今月から歯の矯正をする。本当だったら、100万ぐらいのたくさんのお金がかかる。しかし、私の住んでいる町では、私のかみ合わせが悪いので、お金を援助してくれて、ほとんどお金がかからなくなっている。歯の矯正だけではなく、病院での治療もほとんどお金がかからない。それも、私たちが払っている税金のおかげだとわかった。税金がなかったら私は100万ぐらいのお金がかかることになる。そのことを振り返って、改めて税金は私たちの生活を支えているのだと気づくことができた。

租税教室のおかげで、税金への印象が変わり、税金の大切さに気づいた。しかし、その大切さを分かっている人、人も世界にはいる。それを、私は、伝えたいと思った。その第一歩として、自分の親に税金のことを話して、税金の大切さに気づいてもらい、一人でも多くの人が、税金について関心を持つてほしいと思う。

年金がないため、お年寄りが職を探している。そんな世界だった。今、私たちの生活の中で税金はなくてはならないものになっている。

国や地方公共団体は、私たちの教育に多額の予算を使ってくれているそうだ。私たち中学生は一人につき、一年間に約百二十万二千円を教育費として負担してもらっている。私たちはその感謝を忘れてはいけないと思った。

また、公共サービス・公共施設を提供することもある。財政とは、国や地方公共団体の経済活動のことで、そのために必要なお金の大部分は税金として集められている。私たちが納める税金は、公共サービスや公共施設にたちちを変えて、生活のさまざまな面で役立っている。特に、私たちの生活に必要であっても、利潤を求める民間の経済活動では生み出せないサービスや施設を提供することは財政の大きな機能。そして、それによって財政には、社会全体に必要な資源のあり方を整えていく役割がある。

このように税金には様々な種類、様々な役割がある。私は日々、色々な税金を納めているが、同じように日々の生活の中で私は沢山の税金を支えられて生きている。「税金」というシステムは、私たちが平和に過ごすために重要で必要性のある素晴らしいものだと思う。それと同時にもっとも税金について調べたいと思った。将来、納税をあたりまえにして社会に貢献できる人材になりたい。